

野洲川MIZBEステーション に関するアンケート調査結果

野洲市 都市建設部
河川防災ステーション推進室

調査概要

調査方法：WEBアンケートによる回答

調査対象：どなたでも

調査期間：令和6年7月1日（月）から

令和6年9月30日（月）まで

調査項目：回答者属性、野洲川MIZBEステーションの
利活用について、自由意見

回答数：263件

Q1

河川防災ステーション
とは？

水防活動を行ううえで必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な場所を確保するものです。災害時の緊急復旧活動や水防活動を迅速に行うための拠点となります。

Q2

なぜ整備するの？

野洲川では現在、資材置場3箇所、ヘリポート1箇所等を整備しているものの、堤防決壊時等の復旧活動の拠点となる河川防災ステーションは整備できていません。河川防災ステーション・水防センターを整備することにより、総合的な防災拠点として重要な役割を果たします。

Q3

どこにできるの？

市三宅地先の野洲川河川敷(北流側)に整備します。



野洲川MIZBEステーションをつくります！ （河川防災ステーション）

野洲市では国や県と連携しながら、令和10年4月供用開始を目指し、MIZBEステーションの整備を進めています。また、隣接する滋賀県立高等専門学校や、まち空間と融合し、河川空間を活用した地域の賑わいを創出する「かわまちづくり」に向けた取り組みを進めています。

Q4

MIZBEステーションとは？

平常時における、地域活性化や賑わいの創出が期待される河川防災ステーションがMIZBEステーションとして登録されます。災害時と平常時のいずれにも活用可能な機能を併せ持つMIZBEステーションは水防関係者や住民などあらゆる関係者に活用されることで流域治水推進の起点となり、また地域の賑わいの核として地域活性化を推進します。

Q5

水防センターとは？

MIZBEステーションには、主に災害時に水防活動及び救助活動を行うための拠点として水防センターを整備します。水防センターは、平常時には賑わい創出のための機能(カフェ等)を持つ拠点施設とし、災害時には復旧活動や水防活動の拠点として活用できるように計画します。

Q6

アンケート



<http://www.city.yasu.lg.jp/form/inquiryPC/init.do?inquiryId=86>

施設の整備に関するアンケートです。
ご協力よろしくお願いします。
(所要時間3分程度)

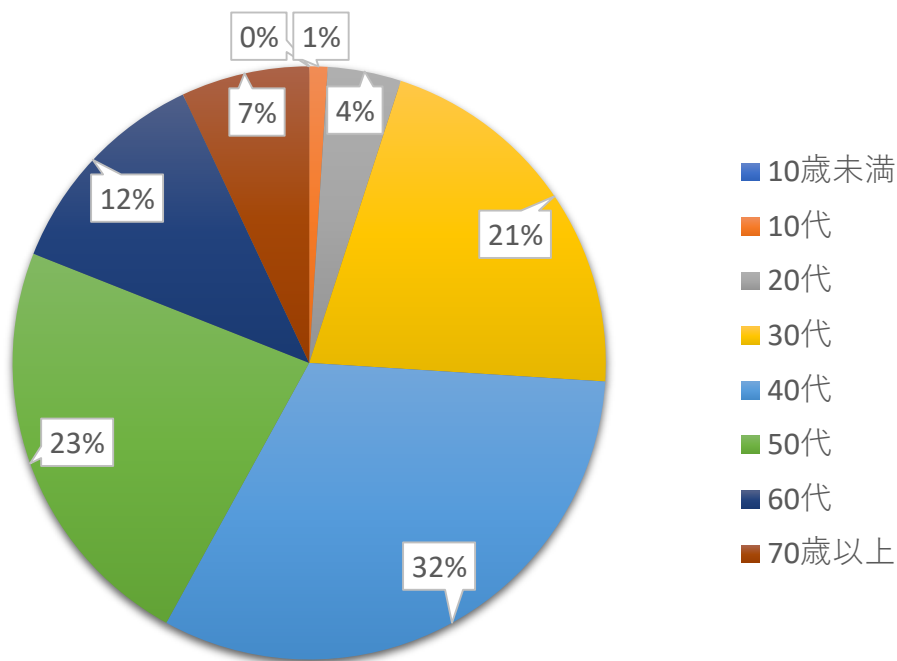
アンケート調査結果

○用語解説

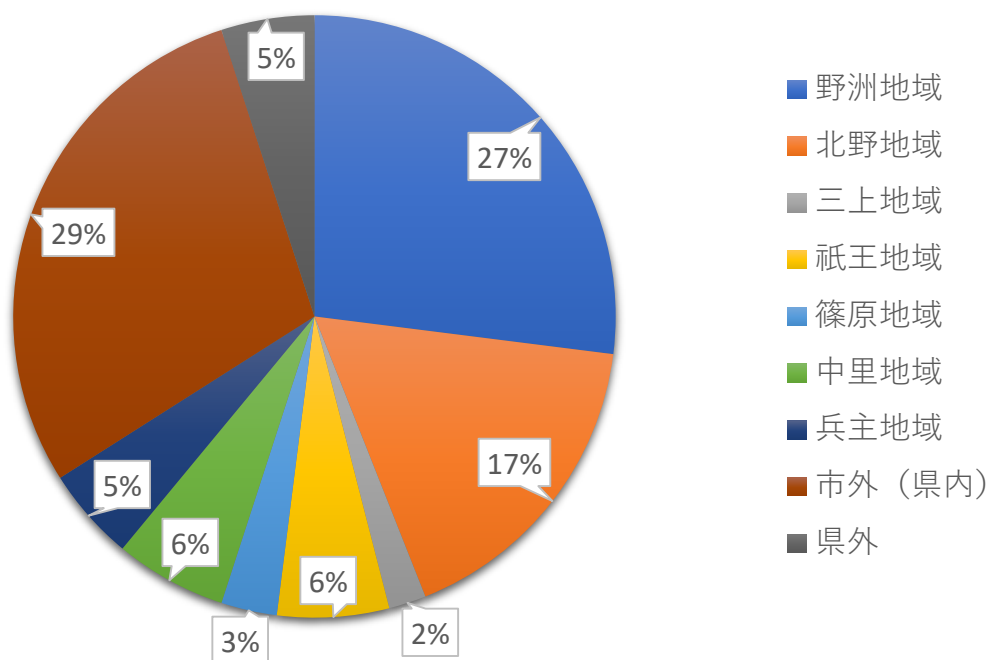
N（母集団のサイズ）：母集団とは、調査や研究の対象となる全体の集合のことです。

n（サンプルサイズ）：サンプルとは、母集団の一部を抜き出した部分集合のことです。

■ 年齢層をお答えください。（N=263）



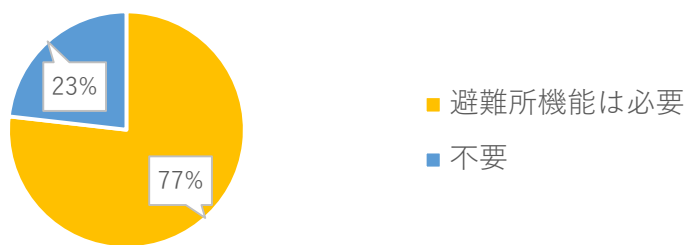
■ 居住地域をお答えください。（N=263）



アンケート調査結果

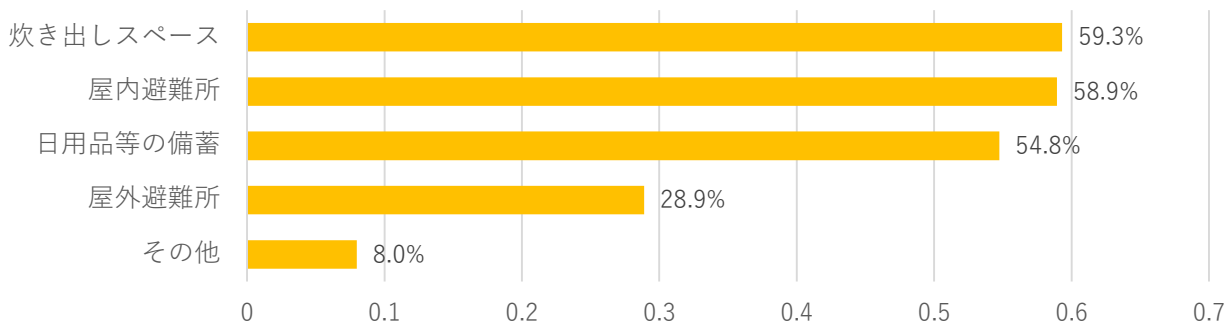
■ MIZBEステーションに住民避難所の機能が必要だと思いますか。（N=263）

避難所の機能が必要か(n=263)



■ 避難所に必要な要素。（複数回答）（N=263）

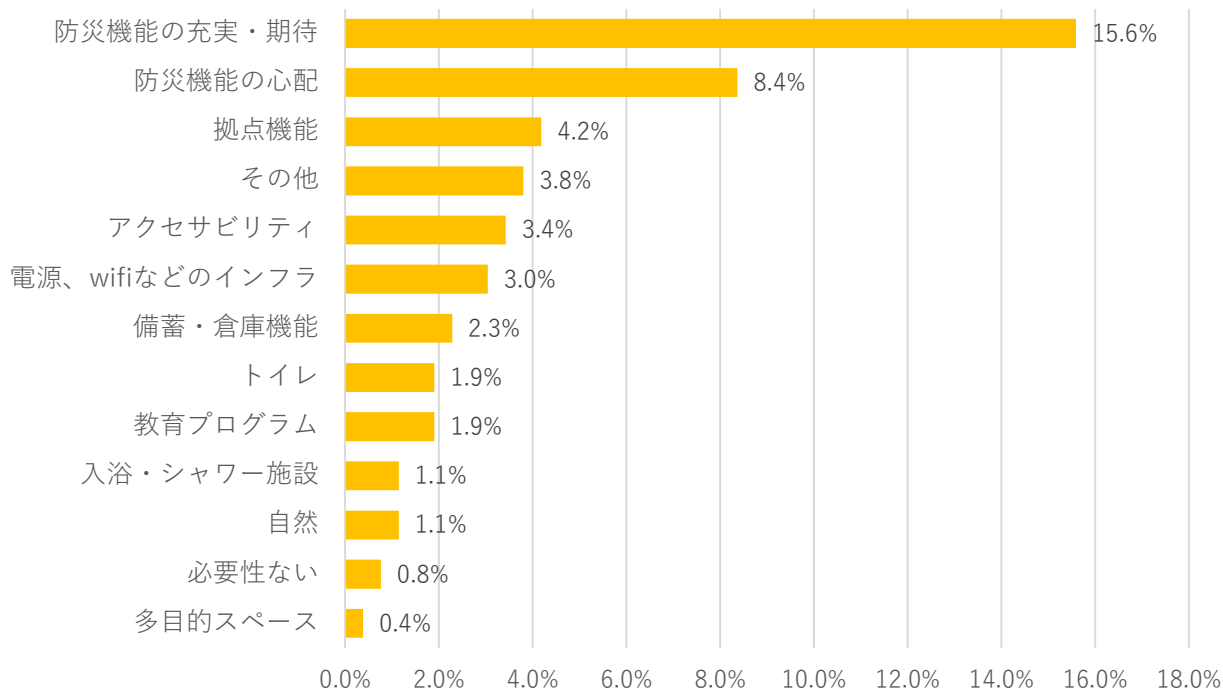
避難所に必要な要素(n=552/N=263)



■ 災害時のMIZBEステーションに期待することや意見。（記述）（n=113）

※下記グラフは記述をカテゴリ整理

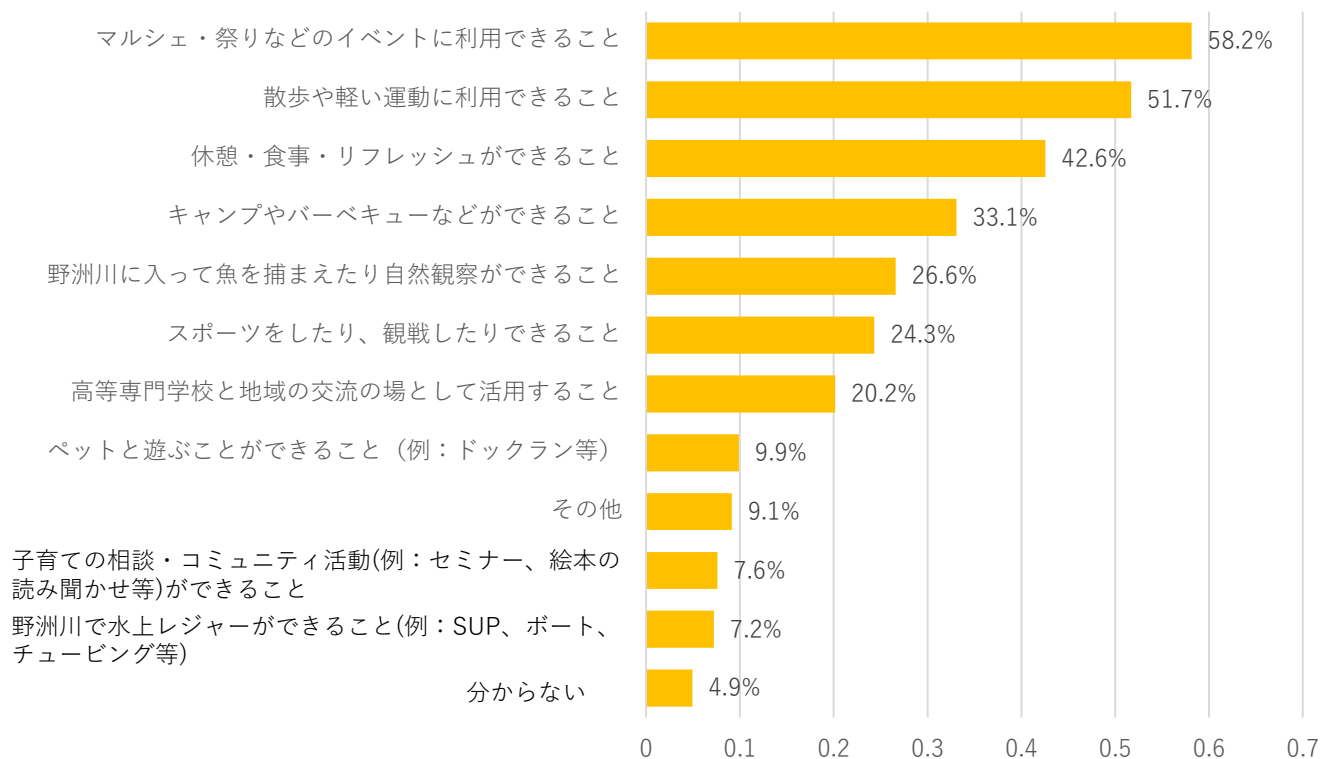
災害時のMIZBEステーションに期待することや意見(n=113/N=263) (%)



アンケート調査結果

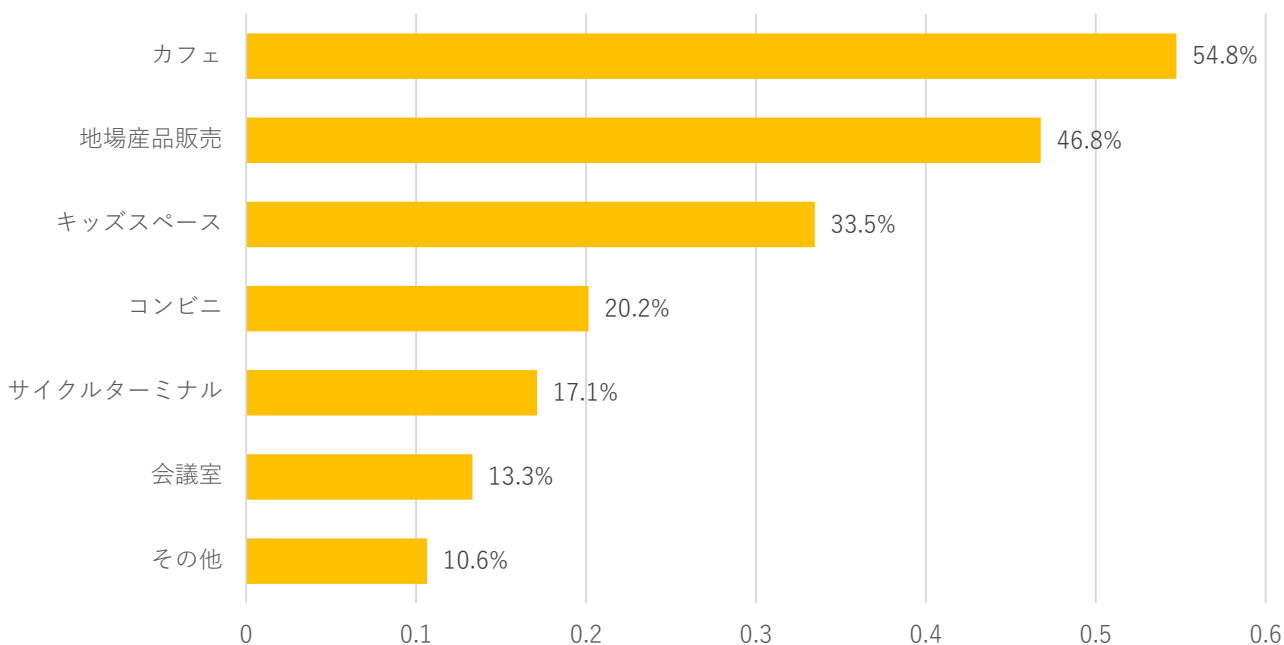
■ 平常時の利活用について、期待する機能（複数回答3つまで）（N=263）

平常時の利活用について、期待する機能（n=777/N=263）(%)



■ 平常時に建物（水防センター）の利活用について、期待するもの（複数回答2つまで）（N=263）

建物（水防センター）の利活用について、期待するもの（n=516/N=263）

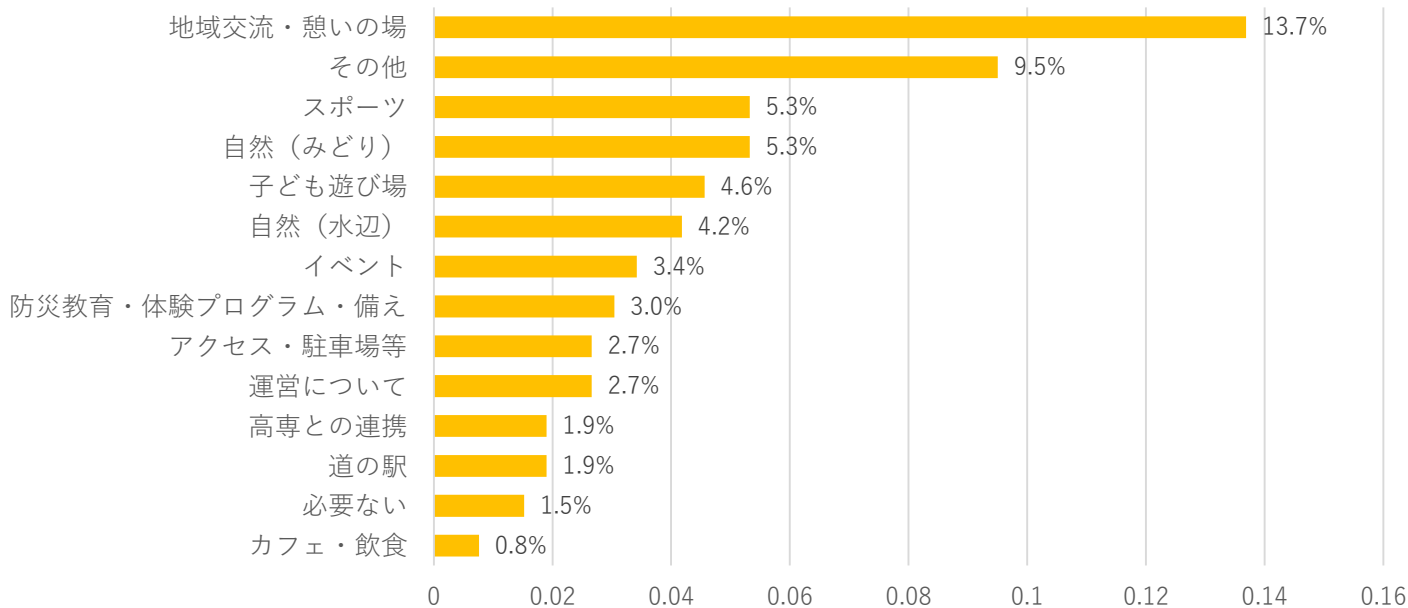


アンケート調査結果

■ 平常時のMIZBEステーションに期待することやご意見（自由記述）

※下記グラフは記述をカテゴリ整理

平常時のMIZBEステーションに期待することや意見（n=159/N=263）（%）



●地域交流・憩いの場

- ・ 市民の憩いの場、集まれる場所
- ・ 地域の方々が集れる場所（飲食、公園、趣味など）になることを期待
- ・ 開放的で景観も良ければいい
- ・ せっかく造るなら常時活用、子どもから高齢者まで、気軽に利用できるよう開けた場
- ・ 多くの市民が関わりしろを持てる場所へと育てていくのが良い
- ・ 冒険遊び場や、未満児の親子の居場所、不登校児童生徒の居場所にもなり、評価されない、制限がない安心できる場所になればいい
- ・ 観光客ではなく、地元住民が使い勝手のよい施設設備にして下さい
- ・ 市民の憩いの場として普段から馴染みのある場所になることが防災や水防への意識醸成に繋がると思う 等

●自然（みどり）、（水辺）

【水辺】

- ・ 川の流れることができる親水エリア（魚釣り、ボートなどを下ろしやすいスロープ等）
- ・ 対岸まで渡れる飛び石を設置すれば、水辺を身近に感じられ、また守山サイドと連携したレクリエーションエリアとなる
- ・ 小さな子から大きな子や大人まで春先から秋まで水に親しめる、浸水公園を作って欲しい
- ・ 自然に親しむ場、水辺の生き物と接することができるスペース

【みどり】

- ・ 野洲川の自然をリラックスして楽しめる空間
- ・ 自然の森の樹木（大木）を出来るだけ残して欲しい
- ・ 自然豊かな野洲の特色を生かして欲しい。自然に親しむ場として活用したい
- ・ 野洲にしかない自然への取り組み、共存への意気込みが表れている場所となってほしい 等

●スポーツ・健康

- ・ スポーツなどいろいろな遊びを提供できる場、興味を持てる場
- ・ スポーツや遊びを通して、子ども同士がかかわれる場を充実させてほしい
- ・ 子供たちが外で遊べる、大人たちの健康維持に資する屋根のある施設
- ・ 市民の健康増進エリア 等
- ・ 具体のスポーツ名：バスケットボール、スケートボードパーク、健康器具、ウォーキング、ジョギング、アーバンスポーツ、ボルダリング、ボール遊び